

鹿児島県漁海況週報

平成26年1月9日発行(1月2日～1月8日)
第2538報【旧暦:12月2日～12月8日/月齢0.7～6.7/潮汐:大潮～小潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、1月8日現在、屋久島御崎の南2.6マイル付近にある。

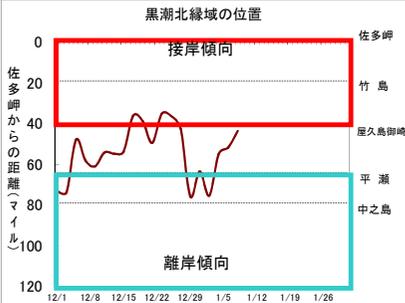
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、1月7日現在、31マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先々週と比較して、中之島、笠利崎で0.1～0.3℃昇温し、その他の海域で0.2～2.5℃降温した。

平年比較では、佐多岬、竹島で“著しく低め”、与路島で“かなり低め”、鹿児島、与論、甌海峡で“やや低め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先々週比較	平年比較	評価
黒潮流域	22.4	-0.2	-0.3	平年並
鹿児島	16.9	-0.2	-0.6	やや低め
佐多岬	17.3	-1.3	-1.7	著しく低め
竹島	18.5	-2.5	-2.0	著しく低め
屋久島御崎	22.2	-1.0	+0.2	平年並
中之島	22.2	+0.1	-0.1	平年並
笠利崎	21.8	+0.3	-0.1	平年並
与路島	21.1	-0.3	-0.9	かなり低め
与論	21.7	-0.2	-0.6	やや低め
甌海峡	17.0	-2.4	-0.7	やや低め

鹿児島一那覇定期客船観測は1/8～9
串木野一甌定期客船観測は1/7

【漁況】

○定置網

甌島海域では、メジナ(400～500g)が20kg/日の入網。西薩南部海域では、ウスハハキ(900g)が1～2.5トン/日、イソシロが多い日で10トン、ブリ(6～7kg)が20～80尾/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ゴマサバ(400g)が多い日で480尾の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、ハカツオ(1.2～1.6kg)が50尾/日の入網。大隅半島東部海域では、週計で35統がサバ類中、カマス、ソウダガツオ主体に26トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカタチイワシ主体にマルソウダ、ブリ混じりで8.3トンの入網。熊毛海域では、ゴマサバ(700～800g)が80kg/日の入網。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、2箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、2～5箱/隻・日の漁。種子島海域では、10箱/隻・日の漁。

○パッチ網

志布志海域では、製品で15トンの入札があった。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日		前週		前年同期	
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	8	193	甌西 縄瀬 天草沖	ウルメイワシ35 マジ仔33 サバ類小11	24.1	1	5	6	178
		中	3	45	縄瀬	ウルメイワシ76 マイシ小18	15.0	3	5	11	190
	枕崎	大	0	—			—	1	115	5	55
		中	14	257	島間沖 種子島南 立目崎沖	ゴマサバ中26 クサヤモロ中小22 ウルメイワシ19	18.3	5	144	20	771
	内之浦	中	0	—			—	0	—	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
計	大	8	193			24.1	2	120	11	232	
	中	17	302			17.8	8	149	31	961	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—			—	0	—	2	347	
棒受網	阿久根	18	25	阿久根沖 長島	カタチイワシ65 ウルメイワシ20 マイシ小12	1.4	7	8	41	113	
	内之浦	0	—			—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	35	26		サバ類中32 カマス26 ソウダガツオ13	0.8	26	12	39	9	
刺網	阿久根	大	1	359	阿久根沖 甌長島	キビナゴ100	0.1	14	1	60	4
		小	0	—			—	0	—	0	—
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	大	1	359	カツオ中76	カツオ小21	358.6	0	—	1	164
		小	0	—			—	0	—	0	—
	海旋	3	1,417		カツオ小48 キハダ22	カツオ中18	472.2	1	773	1	793
山川	海旋	1	819		カツオ小91 キハダ7	818.7	1	630	1	546	

○ブリ飼付け

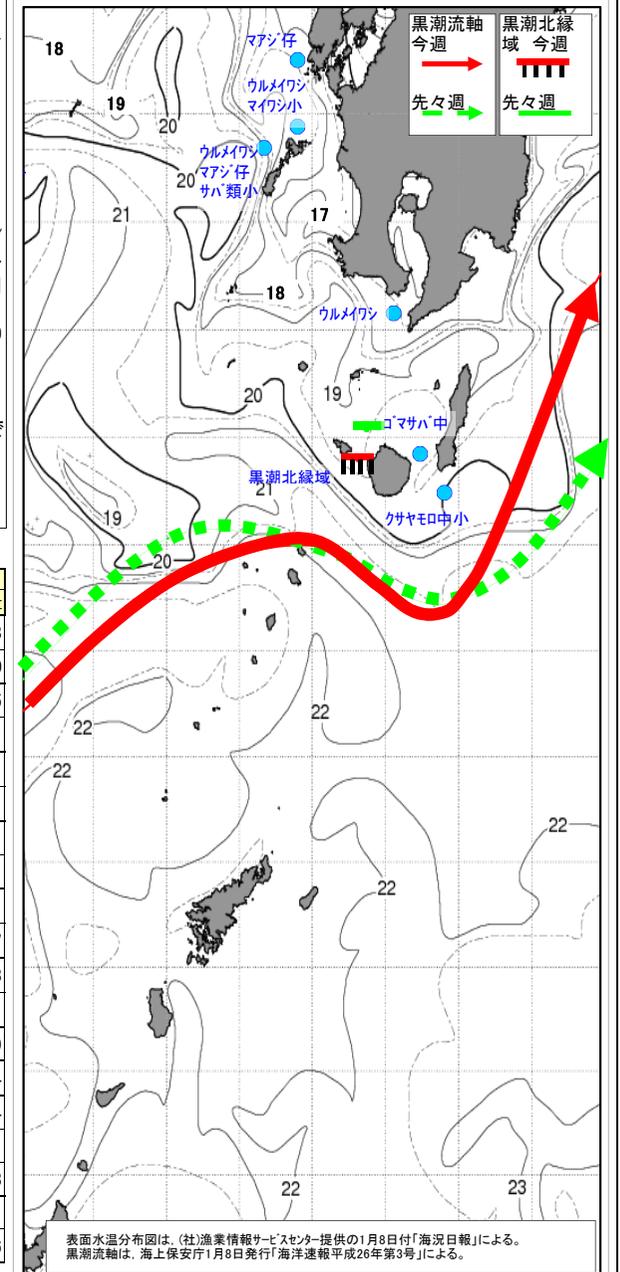
鹿児島湾口部薩摩半島側では、4～8kgサイズを15～70尾/統・日の漁。大隅半島南部海域では、4～5kgサイズを50～60尾/統・日の漁。

○トビウオロープ曳網

屋久島海域では、大ビを9～14箱/統・日の漁。

○その他

甌島海域では、一本釣りでハカツオ(1.5～2kg)を20尾/隻・日の漁。西薩海域では、刺網でサワラ(2～3kg)を多い日で200kg/隻、ヒラメ(700～800g)を多い船で40kg/日の漁。曳縄でサワラ(2～3kg)を50～75kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、刺網でサワラ(3～4kg)を1日のみ40尾/隻の漁。志布志湾海域では、底曳網でハモ(600～700g)を20～30kg/隻・日の漁。熊毛海域では、曳縄でハカツオ(3～4kg)を30尾/隻・日の漁。一本釣りでメダイ(4.5～5kg)を40～50尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、延縄の3日操業でムツ(2～10kg)を130kg/隻、旗流しの4日操業でソメイ(胴体のみ7kg)を21ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の1月8日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁1月8日発行「海洋通報平成26年3号」による。